

郷 土 の 誇 り

長瀬八幡宮見守る会

令和 6年 1月 27日 No. 4

発行者 事務長 太田栄一

あけましておめでとうございます

—— 伊奈会長あいさつ ——

令和六年の年頭に当たり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

わたしも長瀬八幡宮見守る会は、昨年5月に取り組みをはじめ、11月に発足したばかりで、主な活動は、ボランティアによる毎週月曜日と月1回の清掃作業を行っています。どちらにも多くの方が参加してくださりお礼申し上げます。

また、弊会の活動資金として多くの方からご厚志を賜り、重ねてお礼申し上げます。

長瀬八幡宮におかれましては、見守る会が活動し始めた時期に合わせるように、観光客を迎え、テレビの取材も受けられました。今まででは考えられないほどの注目が集まり大変ありがたく思っております。

今年はさらに活動を発展させる所存ですので、皆様の変わらぬ支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとりまして、今年が実り多き素晴らしい年になることを祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。



新年早々の清掃作業実施

2月には**18日**（日曜日）**8:30**～ 1時間程度

正月気分からやっと抜け出した14日、本年最初の清掃作業を実施しました。

息が白くなるほどの気温でしたが、16名の方が参加くださり、今回は神社裏の竹が積まれた山の整理を主に清掃作業をしました。

長年積み重ねた竹の山でしたので枝が絡み合い、引っ張り出すだけでもたいそうな作業量になり、さらに、枝の先が目に入ったり、体に刺さったりする危険があるため、注意深く作業を進めざるを得ませんでした。

それでも参加された皆さんが格闘下さる中、1時間ほどで何とか仕分けすることができました。

皆さんの協力のおかげで、長瀬八幡宮周辺が、徐々ではありますが、きれいになっております。

このような清掃活動を続け、この神社は、由緒ある「郷社 長瀬八幡宮」ですと胸を晴れる神社にしていきたいでしょう。

なお、暖冬とはいえ冬場は寒さが身に染みるため、**2月は作業開始時間を30分遅くし、8時30分**からといたします。よろしくお願いいたします。



竹の山と格闘する皆さん

岡崎商工会議所会報届く

＊ ＊ 「鹿ヶ松」伝説を捉える ＊ ＊

見守る会発行の「郷土の誇り」No. 3にて報告しました、
岡崎商工会議所会報「KAIHOU」1月号が届来ました。

表紙に「でーん」と神門から撮った長瀬八幡宮を載せ、表紙の紹介として、郷土史研究家市橋章男氏の岡崎紀行「開運！家康公を救った鹿の出所言説」と題した、鹿の出所を伝える神社が三社あることなど、家康の「強運」について紹介されています。

三社とは、伊賀八幡宮に八剣神社そして長瀬八幡宮です。

その中で、長瀬八幡宮の伝承のみが取り上げられているのは、市橋さんからしても、長瀬八幡宮の伝承が、「最も信ぴょう性が高い」と思われたからと想像するのは地元鼯屑でしょうか？

岡崎商工会議所会報には、家康公の足跡をたどるシリーズ以外に、市内に存在する文化財、著名な文化人にスポットを当てたシリーズもあり、歴史好きな方には見逃せないものとなっております。一読されてはいかがでしょうか？



K A I H O U 2 0 2 4 1

商工会議所の会報は、パソコン&スマホのネットで読むことができます。

岡崎商工会議所会報で検索 バックナンバーをクリックしてください。

ご支援ありがとうございます

＊ ＊ 見守る会の活動に活用しています ＊ ＊

ご支援いただいた方々のご芳名（敬称略）

金 30,000 円 太田俊征 伊奈和幸

金 15,000 円 杉坂静夫

金 10,000 円 鈴木譲 鈴木光明 手嶋優

金 5,000 円 伊奈賢司 伊奈のぶえ 池田諭 中村俊六 中村佐世子 太田和夫 矢田芳根

鳥居計江 太田栄一

活動資金の支援金は、下記へ振込いただくか、当会役員へ届けていただければ助かります。

記

振込先 あいち三河農業協同組合 長瀬支店 普通 0 1 4 7 0 0 7

ゴウシャナガセハチマングウ キタハラ リエコ

まで、お願いいたします。